

オオセグロカモメによるアマツバメの捕食の観察

對馬昭三*

〒038-0003 青森市石江字江渡105-203

2001年7月15日、日本野鳥の会青森県支部下北野鳥の会によるアマツバメ *Apus pacificus* とオオセグロカモメ *Larus schistisagus*・ウミネコ *L. crassirostris* の調査時に青森県鯛島(41°7'N, 140°49'E) でアマツバメを捕食したオオセグロカモメを観察したので報告する。

鯛島は下北半島西南部にある脇野沢村の沖合い800mにある島嶼で、ここにはアマツバメ(約100羽, 50巢)とオオセグロカモメ(約300羽, 100巢)が集団繁殖地を形成している(今兼四郎氏 私信)。オオセグロカモメの営巣地は島全域の岩場にあり、アマツバメの営巣地は25mほどの高さの崖にできた岩の割れ目の中にあつた。アマツバメは上空でさかんに索餌飛翔をしては、巢のある岩の割れ目に飛び込んでいた。ここにはかつてはウミネコも集団営巣しており、1973年の調査ではウミネコの営巣数の方がオオセグロカモメよりも多かったが(今兼四郎氏 私信)、現在は少数が生息するのみである。

オオセグロカモメによるアマツバメの捕食は両種の繁殖状況調査中の11時過ぎに観察した。岩場にとまるオオセグロカモメの成鳥2羽を観察していると、一群のアマツバメがそのオオセグロカモメをかすめるように飛んで行った。その直後、オオセグロカモメの1羽の嘴に何か黒いものがくわえられているのが見え、双眼鏡で確認するとそれはアマツバメだつた(図1)。オオセグロカモメは2、3度頭を前後にふり、すぐにアマツバメを頭の方から丸のみした。その間、約10秒程度であつた。

また、同日に、別のグループもアマツバメを襲うオオセグロカモメを目撃している(今兼四郎氏 私信)。巢に戻ってくるアマツバメをオオセグロカモメが空中で背後から襲い、一度はくわえることに成功したが、その後、逃がしてしまつた。アマツバメは上空を飛翔中は速いが、巢のそばではスピードを落とすので、その時をオオセグロカモメが狙っていることが考えられた。

2001年11月2日 受理

キーワード：アマツバメ、オオセグロカモメ、捕食

* 日本野鳥の会青森県支部

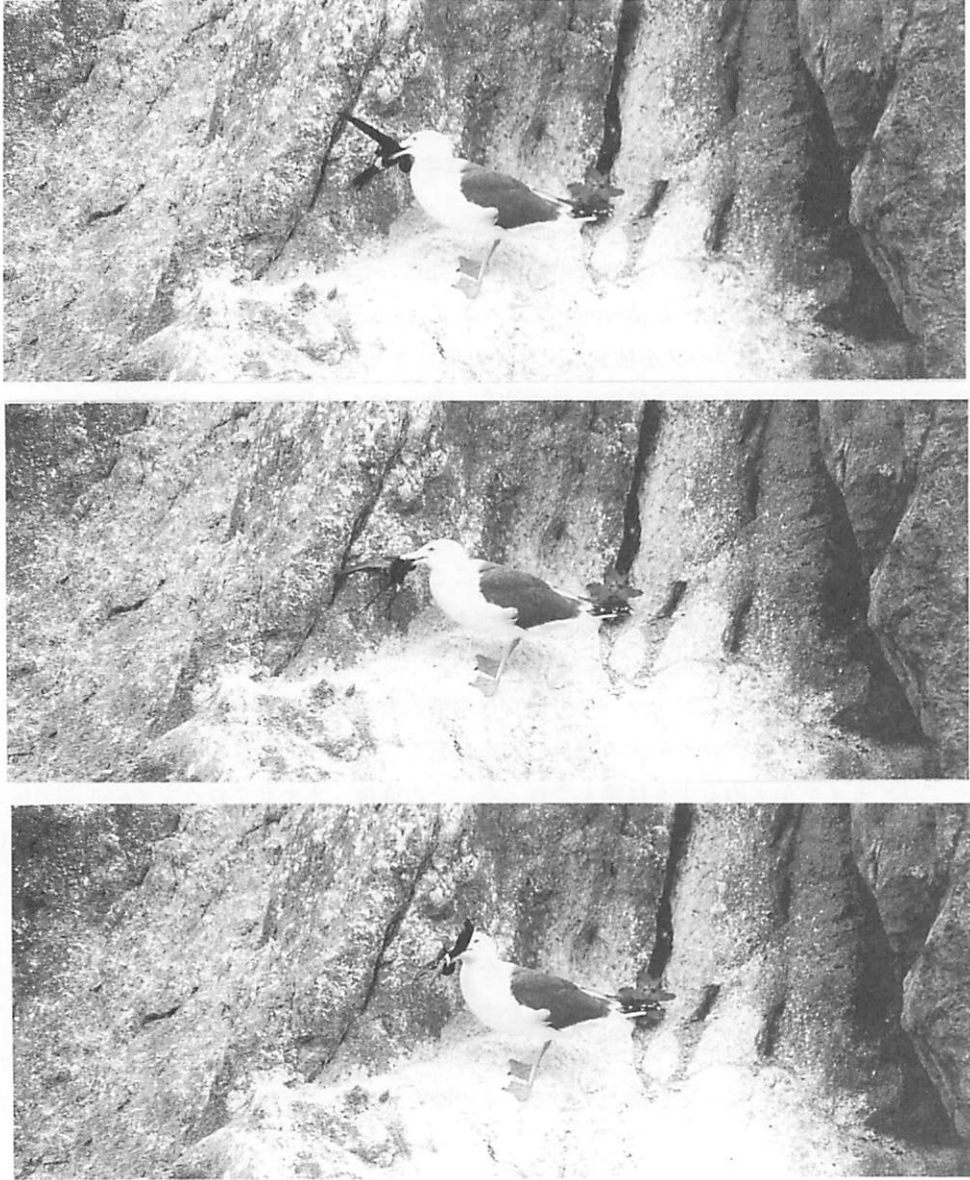


図1. アマツバメを捕まえ、飲み込むオオセグロカモメ
Fig. 1. A Slaty-backed Gull caught a flying swift on Tai-jima, northern Japan.

Slaty-backed Gull catches a flying swift

Shozo Tsushima

105-203 Eto Aza, Isie, Aomori 038-0003, Japan

I observed that a Slaty-backed Gull *Larus schistisagus* caught a flying Pacific Swift *Apus pacificus* on Tai-jima island, Aomori Prefecture, northern Japan.

There was a breeding colony of Slaty-backed Gulls on the island. As I was observing two adult gulls standing on a shelf of the cliff, a flock of the swifts appeared and passed close to the gulls. After they passed, I noticed that one of the gulls was holding one swift in its bill. The gull swallowed it immediately. We observed another flying gull preying on a flying swift. This is the first record of Slaty-backed Gulls preying on swifts.

Key words: *Apus pacificus*, *Larus schistisagus*, *Pacific Swift*, *predation*, *Slaty-backed Gull*